

2 1 世紀の日本のかたち（5）

--- グローカルな視点から考える ---



戸沼 幸市
(財団法人日本開発構想研究所理事長)

1. グローカル社会

日本の現代社会はさまざまな場面でグローバル（世界、地球大）な要素とローカル（日本、地域的）な要素がダイナミックに混合して現れています。

これからの地域経営も国家像もグローカル（グローバル＋ローカル）な視点で考えることが求められています。

人々の住む場所はまぎれもなくローカルですが、日常生活（衣食住）を支えている人、モノ、経済、情報は、地球大に発達した交通・通信のネットワークに乗って世界の各地から入り込み、少なからずグローバル産といえます。

地域での生産活動もまた、グローバル（外国）が入り、グローバル（輸出）を目指したものとなっています。スポーツ、芸術、文化もますますグローバルな様相を呈しています。

2. まちづくり、地域おこし、地域経営とグローバル

21世紀、日本は地球温暖化に直面しつつ、少子高齢化のプロファイルをもって劇的人口減少期に入りました。日本を構成する地域は、グローバルな経済のネットワークの波動の中で地産地消の地域経済が破壊され、工業の生産拠点が中国などに

移り、モノづくりで生きてきた地方都市の足元をおびやかすなど、まちや地域はその存亡につながる事態に直面しています。

グローバリゼーションの波は、まちや地域にマイナスにもプラスにも働いています。この状況の中で国際交流、国を超えた人的、物的交流によるまちづくり、地域おこしに取り組んでいる事例が多々現われています。北海道のニセコは素朴な山スキー場でしたが、今やオーストラリアから大勢の客を受け入れ、有名なリゾートスキー場となって活気づいています。まちづくり、地域おこしには観光が大きな比重を占めつつありますが、日本の自然や歴史的遺産を巡る国際観光が、欧米人に加え経済成長の著しいアジアからの人々で賑わっています。観光客は2000年、476万人が、2006年、730万人と、1.7倍に増えています。

韓国のソウル近郊に世界歴史遺産である「華城」という李朝最後の王朝の跡がありますが、日本留学組の友人が、朝鮮、日本、中国の歴史交流の滞在型学習観光都市にしようと動いています。世界の各地でも、土地の文化と歴史を核としたまちおこしが盛んです。地域の伝統的職人技でモノづくりで世界に名をあげた例も少なくありません。

人、モノ、経済、情報のグローバル化が一つの地域に集中して現れる日本の都市も出現していま

す。例えば東京の「新宿」。一日 350 万人の乗降客をもつ新宿駅をはさんだ西側超高層オフィスは多くの外国資本が入り、多くの外国人が働いています。新宿駅東口の盛り場、歌舞伎町では働き手も来街者も多国籍です。新宿区の住民 30 万人のうち 3 万人以上が外国人居住者であり、これが年々増える傾向にあります。まさに世界の各地から人の集まる多文化共生の街となっており、世界の地域が混在するグローカルタウンといった様相を呈しています。

少子高齢化の安全と安心を支える医療、福祉などに手助けしてくれるアジアの人々も日本の各地に現れ始めています。国際結婚も増え、外国人との混住の地域がますます多くなってゆくことでしょう。

現在、日本には 700 を超える大学が存在しており、これは人口ダムとして人口減少時代の地方地域における地域の大事な資源ですが、同時に、情報のグローバル化の中で地方、地域における教育と知の拠点として、改めて大学と地域の結びつきが求められています。いかなる大学もグローバルとローカルをつなぐグローカルユニバーシティであり、これの活用は地域と大学相互の生き残りのために大きな役割を持ってもらいたいものです。

3. グローカルイメージでの道州制

21 世紀の日本のかたちとして道州制が現実味をもって議論され始めています。

東京一極集中の国家の統治機構を解体し、より地域に軸足を置いた地方連合の道州制国家にしようという動きです。地方政治、行政の制度としても明治以来の都道府県制度では現代の発達し続けるネットワークの人、モノ、経済、情報のダイナミックな流動を人々の生活に即してコントロールする枠組みとしては、人口的にも数十万人から 1

千万人とばらつきが多く、面積的にも小さすぎると思われます。

一方、人口減少に悩む市町村などの基礎自治体の現在のサイズも適正規模に再構成すべきものと考えます。その際、一つの手掛かりとして、日本の人間居住の拠り所である流域圏をベースに 300 単位程度（江戸時代の藩の数）が想定されます。この地域単位はかつて国（くに）と呼ばれ、文化の地域単位でありました。この中にグローカル時代の家、近所、地区の日常を支えるきめ細かいセーフティネットを創り出せないか。この想定の上で柔軟に道州制を考えるべきと考えます。

ユーラシア大陸の東端に張り出した弧状の 3,000 km と長い日本列島は、地政学的にこれまでも地方、地域が独自に諸外国と特有の関係をもってきました。

太平洋地域と日本海地域、南の沖縄、九州と北の北海道では、世界との付き合い方が少なからず異なっています。

太平洋側は文字通りアメリカ、太平洋アジアと向き合っており、活発な海外交流を続けています。日本海側は朝鮮半島、中国大陸と対面しています。米ソ冷戦が終わり、ロシア、ウラジオストックが開港されて以来、日本海側が対岸との再交流に動き出しましたが、これは南北朝鮮問題とも対面することでもありました。

日本海を平和な海とし、北東アジア諸地域といかに交流するかは、この地域のグローカルな緊急の課題です。

北の北海道は北方領土の帰属について課題を残しつつも豊かな極東資源、海洋資源についての共同開発、共住の生活圏として大きな可能性を持っています。北海道の未来イメージとして、人口的にも北欧四国（デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、）とも通じるものがありま

す。

南の沖縄、九州は昔からアジア南方諸国との交流の歴史をもち、この地域から半径 3,000 km の円を画けば東アジアの多くの国が入ってしまいます。現在すでに、この地政学的条件をもとに交流が行われています。

世界都市東京をもつ東京圏は、21 世紀においても人、モノ、経済、情報の集中と拡散のグローバルネットワークの大きな結節点として、ニューヨーク、ロンドン、パリ、上海などとともにも最も活発な国際交流空間であり続けましょう。

近畿圏は古来より大陸とのつながりのある歴史都市奈良、京都、そして人、物流の馬車廻しであった国際港、加えて新しい国際空港をもつ大阪、神戸などの個性的国際都市を有しています。

東北は国際港湾の青函インターブロックを介して北海道とつながりながら日本海、太平洋を両にらみです。

ものづくりの世界的拠点をもつ中部、きわめて日本的な景観をもつ瀬戸内海を内ふところにして、大陸と太平洋に顔を向ける中国・四国があります。

私自身の道州制案は、日本列島を輪切りにした 7 区分案です。

① 北海道 ② 東北 ③ 関東(含新潟) ④ 中部 ⑤ 近畿 ⑥ 中・四国 ⑦ 九州(含沖縄)。

21 世紀の日本を構成する国家の地方的単位として変動の大きい国内外の状況に対峙する体制を整えるべき時です。(早大 21 世紀の日本研究会 '70 年提言)

首都機能の移転についても道州持ち回りなど改めて考えたいものです。

4. 日本とは何か

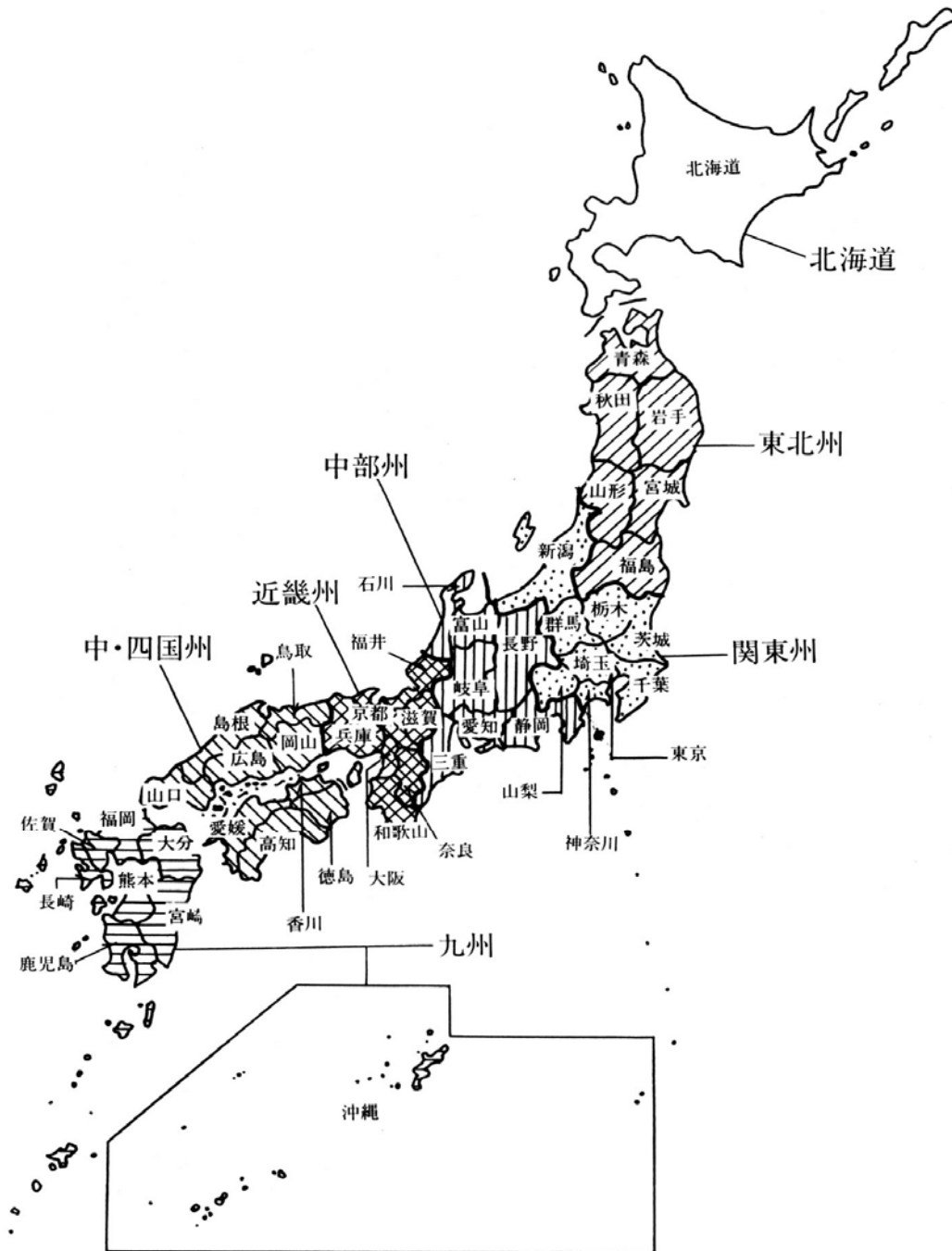
「国家」一家、村、まち、都市、地域につづく国家は、地球における人間居住の枠組みとして存

在してきました。21 世紀もこの枠組みが消失することは考えられません。と同時に 20 世紀の日本は、欧米モデルではない独自の国家像、21 世紀国家像の模索の時代に入りました。

「日本」とは何か、そのかたちをどのようにするかを「グローバル」「ローカル」が交差する「グローバル」のダイナミズムの中で改めてイメージしてみたいものです。

(2008 年 5 月 15 日)

図1 七道州ブロックと四七都道府県



出典：「遷都論（改訂版）-2 1世紀国家への脱皮のために-」 戸沼幸市著、ぎょうせい、1988

表1 道州制の人口と面積（案）

人口 面積 地域	人口		面積 (km ²)
	2005年 (千人)	2030年 (千人)	
北海道	5,634	4,768	83,456
東北州	9,769	8,616	62,928
関東州	44,530	42,860	47,224
中部州	19,408	17,630	47,310
近畿州	21,783	19,890	31,279
中国・四国州	11,788	10,146	50,605
九州	14,796	13,667	41,221
全国	127,708	117,580	377,930

注：各州の面積には、都県にまたがる境界未定地域(13,901 km²)を含まない。

資料：国立社会保障・人口問題研究所『都道府県別将来推計人口』（平成14年3月推計）による。

表2 道州の国際比較（人口・面積）

◆人口（2005年）

国名	人口（万人）
日本	12,771
フランス	6,050
イギリス	5,967
韓国	4,782
関東州	4,453
カナダ	3,227
近畿州	2,178
中部州	1,941
オランダ	1,630
九州	1,480
中国・四国州	1,179
ベルギー	1,042
東北州	977
スウェーデン	904
オーストリア	819
スイス	725
北海道	563
デンマーク	543
フィンランド	525
シンガポール	433
アイルランド	415
ニュージーランド	403

◆面積

国名	面積（万km ² ）
カナダ	997.1
フランス	55.2
スウェーデン	45.0
日本	37.8
フィンランド	33.8
ニュージーランド	27.1
イギリス	24.3
韓国	10.0
オーストリア	8.4
北海道	8.3
アイルランド	7.0
東北州	6.3
中国・四国州	5.1
中部州	4.7
関東州	4.7
デンマーク	4.3
オランダ	4.2
スイス	4.1
九州	4.1
近畿州	3.1
ベルギー	3.1
シンガポール	0.1

注：日本の人口・面積は、「表1 道州制の人口と面積（案）」による。

資料：国土審議会（総会）第12回（平20.2.13）配布資料「国土形成計画関係参考図表（参考資料1-5）」による。